

会 議 録

<p>会議名 (審議会等名)</p>		<p>第 6 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会</p>				
<p>事務局 (担当課)</p>		<p>都市計画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通) 生涯学習課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通) 公園課 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 2 2 (直通)</p>				
<p>開催日時</p>		<p>令和元年 1 0 月 7 日 (月) 午後 7 時 3 0 分 ~ 午後 9 時 0 0 分</p>				
<p>開催場所</p>		<p>プロミティふちのベビル 2 階 A B 会議室</p>				
出席者	市民検討会 委員	2 4 人 (9 ページのとおり)				
	有識者協 議会委員	3 人 (9 ページのとおり)				
	その他	1 人 (施設担当者)				
	事務局	1 5 人 (都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他 1 2 人)				
	運営・検討支援 業務受託者	7 人 (セントラルコンサルタント株式会社)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	5 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由						
会議次第		<p>< 開会あいさつ ></p> <p>1 市民検討会委員アンケートの結果報告及び今後の進め方について</p> <p>2 オープンハウスについて</p> <p>3 その他</p>				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（ 市民検討会委員の発言、 は有識者協議会委員の発言、 は事務局の発言 ）

1 経 過

都市計画課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会鈴木会長の進行のもと傍聴の確認を行い、市民検討会委員アンケートの結果報告や公表、今後の進め方について事務局より説明し、市民検討会委員との意見交換を行った。

2 議 事

(1) 市民検討会委員アンケートの結果報告及び今後の進め方について

【市民検討会委員アンケートの結果報告について】

先日実施した市民検討会委員アンケートにおいて、20人の方から回答を得ることができた。アンケートでは3つの設問への回答をお願いしており、1つ目は今後の進め方について検討すべき内容やその順位付け、2つ目は北口を含めた淵野辺駅周辺のまちづくりの方向性や目指すべき姿、3つ目にまちづくり、公共施設、公園についての魅力向上や地域課題の解決のためのアイデアについてであった。

取りまとめた結果、1つ目の今後の進め方については、今まで通りまたは市の進め方で良いとする回答、公共施設を修繕すべきか、単独または複合化して建て替えるべきかどうかを明確にするという回答、まずはまちづくりの方向性を決めるという回答、そして、施設を公園内に建てるかどうかを明らかにするという回答などが複数あった。また、2つ目のまちづくりの方向性や目指すべき姿、3つ目の課題解決のアイデアについては、淵野辺駅の北口と南口を合わせて考えるという回答、公園を拠点としたまちづくりを考えるという回答、公共施設の複合化や建て替えを行い市民ニーズに合わせていくという回答などが多くあり、委員の様々な声を聴くことができた。

アンケート結果の公表については、会議資料は原則公開と考えており、アンケート依頼時に「氏名は公表しない」と伝えたが、原文と概要の公表には触れていなかったため、公表すべきか否かについての意見をいただきたい。

アンケート結果については、原文は公表せず、個人を特定できないようにまとめた概要を公表することでよいと思う。公表することに承認を得ていないため、もう一度内容を確認し、修正箇所、全文の削除や非公開部分があれば事務局に連絡してもらい、許可を得た上での公表を考えている。

アンケートの結果について見ると多種多様な意見があり、全体の傾向などはまとめづらい状況である。有識者協議会で議論したところ、皆が淵野辺に高い愛着を持っており、色々なものを継承していく事を重視していると受け取ったので、その方向で進めることが必要と考えている。また、市民検討会の位置付けを確認し、いつまでにどのようなことを議論して、まとめるのかを明確にする必要があるため、市民検討会の進め方のたたき台を作成した。そのたたき台を事務局に説明させるので、その後に、今後の進め方について委員の意見を伺いたい。

【今後の進め方についてのたたき台説明】

これまでの市民検討会での議論を通じ、淵野辺の居心地が良い居住環境、公共施設が集まる利便性の高さ、桜などの自然、児童交通公園、SLなどの魅力を有する鹿沼公園など、現在のまちに高い愛着を持っていることが確認できた。一方で、施設が老朽化していることから将来を見据えた施設の在り方や公園の魅力さをさらに向上させるなど、良いものを残しつつ悪いものを更新する、これからの時代のニーズに合わせる必要があると認識していることが確認できた。

今回の委員アンケートでは今後の検討を進める上で、淵野辺全体のまちの方向性を固めて検討したいという意見や、施設の老朽化について検討したいという意見が見受けられた。また、市民検討会委員のアイデアに対して実現可能か、他市の事例も含めてもっと情報を提供してほしいという意見も寄せられた。これらを踏まえた今後の進め方のたたき台として、以下の4点を提示する。

1つ目は、資料「これまでの議論で見えてきた次世代に引き継ぐ淵野辺」をベースにオープンハウスや市民へのアンケートを実施し、次世代に引き継ぐまちのイメージについて広く市民意見を聴取し、今後の淵野辺の方向性を確認する。

2つ目は、他市の事例や本市の諸計画、今後本市が直面する人口減少、超高齢社会を迎えるにあたり必要な全市的な情報を改めて確認し、それらも踏まえ淵野辺ですべきことの議論を実施する。

3つ目は、基本計画案の検討過程において市が検討したパターンとその前提となった条件等を提示して、実態の共通認識を持つこと。今までの市民検討会では自由な意見を出して貰うため、市から具体例は示さずに検討会を進めてきたが、アンケート調査で実現の可能性についても情報提供をしてほしいという意見があったことから、実態の共通認識を持つため、前提となった条件等を提示する。

4つ目は、市民が主体となったまちづくりを行うため、施設関連団体や地域団体と協力するなど、ソフトのまちづくりを広げていくことが重要だと考えて

おり、市民検討会で出された課題について分析をして、まちづくりの輪を淵野辺のまち全体に広げる。

なお、たたき台については、有識者と事前にやり取りしながら、意見を踏まえ作成したものである。

1つ目の今後の淵野辺の方向性については、事務局から提示されたまとめをもとに本日委員から意見をいただきながら整理ができればよいと思っている。また、今年度中に一度形を出したいのが1つ目から3つ目であり、今まで5回の検討会で議論してきたことや今回の委員へのアンケート結果を見える化して整理をした方がよいと考えている。4つ目はソフトのまちづくりの中で地域を良くしていくために市民検討会の皆様に協力していただき、積極的に参加してもらおう意味であり、中長期的なものになると考えている。

【質疑応答】

今後の進め方の3つ目の基本計画案というのは、平成29年度に出した基本計画案や条件を提示するということか。

そのように考えている。基本計画案を検討する際には、例えば公共施設をなるべく休館させない等の様々な前提条件があるためそのあたりも提示したい。また、最終的な案として基本計画案はホームページに公開しているが、その過程での検討パターンは公開していない。

市民検討会の位置付けや行政との関係性について整理された資料を見ると、単に自由な意見を出す場のようになっている。当初私は市民検討会の中で具体的なプランを構築するという認識があったが、単に意見を出し、最終的にはその意見を行政のほうで取りまとめて具体的な提案をすると受け取った。検討会は意見を出すだけなのか、また、これまでの意見を集約して具体的な提案を出すタイミングはいつになるのか。

市民意見については、より多くの意見を収集したいと考えている。その中で市民検討会が大きな役割を占めているのは間違いないが、他にも市民アンケートやワークショップも含めて、より多くの意見を聞いていきたいと考えている。その中で市民検討会が果たしていく役割は、市が提示した様々な情報をもとにパターンを検討し、その中でもっとこうしたほうが良いという提案までお願いできればと思っている。

また、具体的な提案のタイミングについては、委員の中にも早く進めたいとする意見もあれば、そもそも基本計画案に反対とする意見もあり、色々な議論を経て時期が見定まってくると考えている。ただし、有識者協議会でそろそろ具体的な案を提示する時期だという意見も出ているため、今後示していきたい

と考えている。

市民検討会の中では基本計画案の話は一切出てこない。基本計画案を前提とするのか。

基本計画案自体はあくまで検討材料の1つであり、検討パターンの1つと考えている。

基本計画案の条件の提示は、以前の基本計画案のみになるのか、その後のパブリックコメントでの意見などを反映されたものもあるのか。

検討パターンの時に示した前提条件に加えて、市民検討会の意見、他にも財政の話などについても説明を行うべきと考えている。

オープンハウス等で検討パターンに関するアンケートは行うのか。市民検討会以外の人たちの意見も含めて検討パターンを示すということだったがどうなのか。

議論の結果をオープンハウスやアンケートで聞くとすれば、同じことを説明しなければ回答できないため説明する必要がある。また、市民の他にも大野北地区まちづくり会議にも説明しながら意見を聞いていく。

大野北まちづくり会議でもこれまで様々な議論がなされているが、まちづくり会議の意見がどうなっているのか分からない。まちづくり会議の方々も市民検討会に参加した方がよいと思う。

ご意見として参考とする。

淵野辺駅周辺のゾーニング図において、緑が鹿沼公園、赤が居住環境、オレンジが身近な買い物環境という書き方が微妙に感じる。この書き方だと公共施設が身近な買い物環境ゾーンになってしまう。

北口については身近な買い物環境となっており、南口もドラッグストアやコンビニエンスストアがあるため身近な買い物環境としている。こちらは第4回の市民検討会のまちづくりワーキンググループの時に使用した資料から引用しており、皆さんの意見があれば修正することは問題ない。

基本計画案で問題になったのは、公園の中に複合施設や駐輪場を設置することに関してだと思うが、この市民検討会においても方向性として公園の中にそういったものを作りたくないというのが今までの意見を通して感じている。そうすると基本計画案と違う案が出されると思うのだが、やはり基本計画案をベースにする考えなのか。

基本計画案は検討パターンの中の1つという扱いになる。アンケートの結果で公園の中に設置するかどうかを早く決めたいという意見もあったため、今後

のスケジュールや検討材料の中で意見ををお願いしたいと考えている。

大きな方向性として公園の中に複合施設等を設置せず、駐輪場はそのままという意見も基本計画案に取り込む可能性があると考えてよいか。

どのような形になるのかは未定だが、市民検討会の結論として整理する。その結果をもって市長に決定してもらい、公表していくことになると考えている。

今後の淵野辺の方向性を早く決めたいという意見に関して、オープンハウスの実施や、もっと公募委員が増えて色々な人の話を聞くのもいいと思う。全5回の検討会を通して、良いところ、悪いところ、残したいところ、刷新すべきところ等がまとまっているのに、本日は方向性の話はしないのか。委員アンケートには沢山ヒントがあると思うが、次回以降に何を検討するのかイメージが湧かない。

オープンハウスの結果、傾向について市民検討会に報告をして今後の検討材料としたい。次回には何をいつまでに決めるのか考えられる資料を用意しなくてはいけないと思っているが、皆さんからの提案があってもいいと思っている。

今までの検討内容では、利用者とか利便性とかが先に立ってしまい、周辺に住む方が少し置かれてしまっていると感じる。もちろん地域の方の利便性なども大切だと思うが、地域住民がどう思っているのかをアンケート等で吸い上げるのも大事である。意見の中には現在の図書館の場所を複合施設にする話もあるが、それをされたら困る。例えば保育園の子どもたちは毎日窓から鹿沼公園のほうを見て、春の桜や、冬の落ち葉を見て季節を感じたりしている。子どもが育つ環境として重要な要素なので、そういうことも考えて進めてほしい。

そういった意見も聞いていきたい。

考えられる角度や次元が委員によって異なるため、意見をまとめるのは難しい。行政に何をやらせるのかではなく、委員側からも次回以降にやらなくてはいけないことなどの提案があってもよいと思っている。

まずは大きな方向性として、住宅地として考えるのか、商業地域として考えるのかを決めたい。住宅地として考えるのであれば、住宅地としてどういう魅力を活かしていくのか。まちづくりは市の基本方針も決まっていて、結局、商業地域みたいな形で進めていくような方向になっている。私としては皆さんが商業地域というのであればそれで考えていくしかないが、まずは方向性を決めてもらわないと詳細は決められない。

当初から、基本的にまっさらな土地にして何かするような話ではなく、基本計画案に全て縛られるわけでもないと伝えている。中間的な案というものも皆

さんで出して頂くのも良いのではないか。

具体案として施設をどうまとめるのかといったアンケートを市に提出しているので、たたき台にしてもらっても構わない。今後の進め方については、パターンの検討のような、具体的な検討段階に入ってくると思うので、市で持っているパターンを提示してもらい、検討するのも良いと思う。検討組織を立ち上げた当初は、市のパターンを検討し、具体的な検討は後ですとしていたが、これまで検討ばかりで何も提示されなかったので、早くパターンを出してほしい。ただし、まちの方向性として現状の淵野辺のまちに愛着を持っているので、現状程度の人口密度を保っていけるのがベストと考えている。追加として、4つ目のソフトなまちづくりを広げるにあたり、市民検討委員が今後も頑張してほしいとあるが、そこまでできるつもりは全くなく、そもそも公募要領にそういった記述は無かったので、いきなり付け加えられても困る。

今後のまちの方向性については、今までの検討で出てきたものを整理している。委員の皆さんはこのまちに愛着を持っているため、良いものを残しつつ悪いものを更新していく。これからの時代のニーズに合わせる事がまちの方向性だと考えている。

検討パターンに対する検討も市民検討会で行っていくことでよいか。

そのように考えている。

公表するアンケートの形はこれでいいと思うが、この場で発言できない人、検討会に参加できない人が、まちづくりへの思いをアンケートに込めていると思うので、委員としては全てを確認したい。また、パブリックコメントでの意見も加えてパターンを作成すべき。

検討パターンを提示するタイミングは非常に難しく、初めに出してしまえばそれだけで議論が終わってしまう可能性もあり、ある程度煮詰まってきた段階で出せるのではないかと考えていた。これからは、事務局が準備している検討パターンと、検討会委員会の持っている考えをすり合わせしてみてもどうか。

公共施設に関しては考えることが多岐にわたっており、同じペースで議論を進めてもまとまらないと考えている。ハードやソフト、サービスの面で意見を分けて整理すべき。

市民検討会での意見やアンケート結果を含めて、今後事務局が検討してきたパターンと一緒に見ていただきたい。有識者協議会でも同じ話が出ているので、今のご心配はそこで解消されるのかと考えている。

アンケートの結果はある程度反映されることになるのか。アンケート結果をどう活用するかが分からなかったので、事務局の考えを知りたい。

アンケート結果は今後の議論に活かしていきたいと考えている。

(2) オープンハウスについて

10月14日及び15日に開催するオープンハウスのパネル案について、事務局より説明を行った。

3 その他

事務局より、アンケートの公表について意見のある場合は今週中を目途に事務局へ連絡をもらい、その結果をもって有識者協議会委員と相談の上、結論を出すことを伝えた。

次回の第7回市民検討会については、予定が決まり次第お知らせすると伝えた。

以上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
飯高 千里	出席
植田 憲司	出席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
佐野 玲希	欠席
白石 一郎	出席
畑 耕一	出席
山林 亮太	欠席
渡辺 章	出席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
安達 和夫	出席
内田 清	出席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	出席
佐伯 明美	出席
瀬戸 凌太郎	欠席
高柳 眞木子	出席
平本 峻	欠席
矢部 裕子	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯沼 容子	欠席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
岸本 孝史	出席
山口 清孝	欠席
城田 大介	出席
狭間 宏明	出席
北條 幸治	出席
前田 智恵子	出席
山本 有紀	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
押田 佳子	出席
小島 仁志	欠席
小山 憲司	欠席
鈴木 眞理	出席
野口 直人	欠席
山口 直也	出席
山本 匡毅	欠席